

国立大学法人鳥取大学の開発供給実施計画の概要

果樹類の受粉作業の省力化を実現する自律走行受粉機

2026年6月認定

<取組概要>

果樹類（ナシ・リンゴ）の受粉作業の省力化を目的とする、傾斜地でも安定して自律走行ができる車両及びその上部に搭載可能な自動噴霧機から構成する自律走行受粉機の開発及び供給

<申請者名（代表者）>

国立大学法人鳥取大学

<開発技術のイメージ>

<計画の実施期間>

5年間

<本技術による生産性向上の効果>

- ・「果樹・茶作」の「栽培管理」のうち「自動収穫機の汎用化等を通じた受粉、摘果、摘粒、摘葉、ジベレリン処理、剪定、剪枝、整枝、被覆等の省力化に係る技術」により労働時間60%削減に資する技術

果樹類の受粉作業の労働時間の削減



自律走行受粉機